

令和7年度
近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験
【一般】

日 本 文 学 専 攻
専 門 科 目 試 験 問 題

【言語・文学コース】

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をお読みください。

- 1) 解答はじめの合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2) 机の上には、受験票、HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式は除く)、時計(時計機能だけのもの)、眼鏡以外のものは置かないでください。
- 3) 辞書については、持ち込を許可されている専攻・コースのみ使用可能です。(電子辞書は除く)
- 4) 試験開始後、解答用紙にコース名・受験番号・氏名を記入してください。
- 5) 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気が付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6) 試験終了後、問題冊子はお持ち帰りください。

令和7年2月15日実施

2025年度・令和7年度 2月入試 一般専門科目
近畿大学大学院 総合文化研究科 日本文学専攻 言語・文学コース

課題 【問題1】から【問題4】の問いにそれぞれ答えなさい。

【問題1】 日本文学における〈歌〉について説明しなさい。（400～600字）

【問題2】 日本語におけるテンスとアスペクトについて説明しなさい。（400～600字）

【問題3】 次の4項目のうち1つを選択して、説明しなさい。（400～600字）

- 1 共時態と通時態
- 2 漢字廃止論
- 3 アダプテーション
- 4 エディプス・コンプレックス

【問題4】 次の4項目のうち1つを選択して、説明しなさい。（400～600字）

- 1 シネクドキー（提喩）
- 2 役割語
- 3 井原西鶴
- 4 紀行文

採点基準と出題意図

【問題1】

- ・ 歌集や歌物語といった古典文学における歌（和歌）から近現代文学における歌（短歌）に至るまで、日本文学において歌が重要な位置を占めていることを、文学作品や作家を例示しながら適切に説明しているか。

【問題2】

- ・ 基準時に対する時間的前後を表す文法カテゴリー「テンス」と、ある動作や作用の時間的経過のどの局面に注目しているかを表す文法カテゴリー「アスペクト」の違いを、現代日本語または古代日本語の例を示しながら適切に説明しているか。

【問題3】

- ・ 文学や言語学に関わる基本概念である①～④のうち、自身の専門に近いものを選んで適切に説明することができるか。各概念の要点は次に示すとおり。
 - 1 言語研究において、ある時点の言語体系における要素間の関係や変異を観点とするアプローチ（共時態）と、時代変化に伴う言語要素の変化を観点とするアプローチ（通時態）。
 - 2 近現代日本における言語政策の議論において行われた、日本語の表記に漢字を用いるべきではないという主張。
 - 3 映画、舞台、小説などにおいて、もととなる作品（原作）を、目的（映画化、舞台化、小説化など）に沿うように改作したり脚色したりすること。
 - 4 子供（特に男児）が異性の親に対して抱く性的な思慕や同性の親に対する競争や親殺しの願いなどの無意識的願望。

【問題4】

- ・ 日本文学や日本語学に関わる項目①～④のうち、自身の専門に近いものを選んで適切に説明することができるか。各項目の採点で特に注目する点は次に示すとおり。
 - 1 「花」という語で「桜」を表すなど、概念的な全体と部分（類と種）の関係に基づいた比喻であることを理解しているか。
 - 2 キャラクターの特性とキャラクターが用いる言語表現の特徴との関係について、日本語学の知見に基づいて適切に説明できるか。
 - 3 『好色一代男』や『西鶴大矢数』など井原西鶴の作品を例示し、日本文学史の知見に基づいて井原西鶴やその作品について適切に説明できるか。
 - 4 『土佐日記』『十六夜日記』『おくのほそ道』など紀行文に該当する作品を例示し、日本文学史の知見に基づいて適切に説明できるか。